

# 第1地区中部の統計データ

## 人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,623	901	8,971	969	782	15.1	8,313	1.40
H27.3	12,284	887	9,237	1,234	926	17.6	8,255	1.49
H31.3	12,774	946	9,473	1,341	1,014	18.4	8,778	1.46



# 第1地区中部

## 5年後の目指す姿

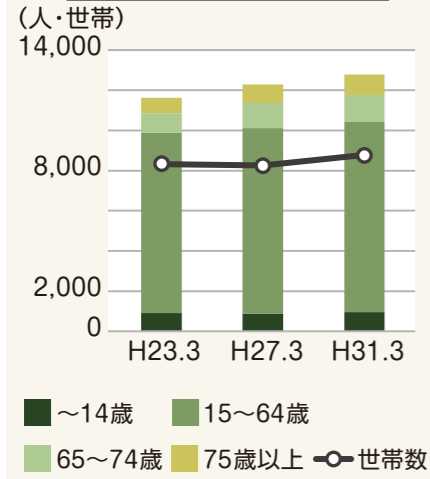
高齢者、障害者、こどもが多文化共生する、安全で健康なまち「いちなか」



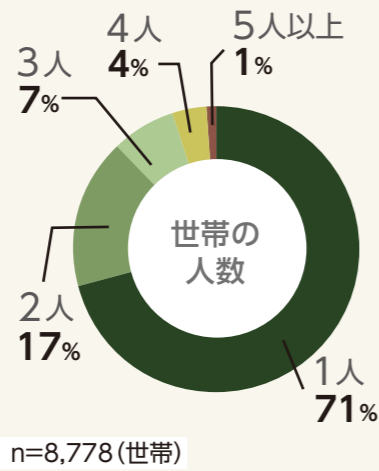
おしゃべり会 ▲

お花見の集い ▲

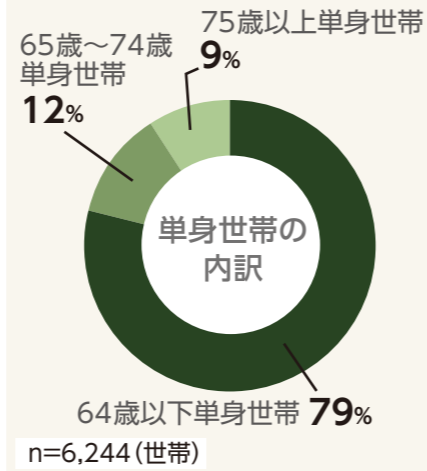
### 人口・世帯数の推移



### 世帯の状況 (H31.3現在)



### 単身世帯の状況 (H31.3現在)

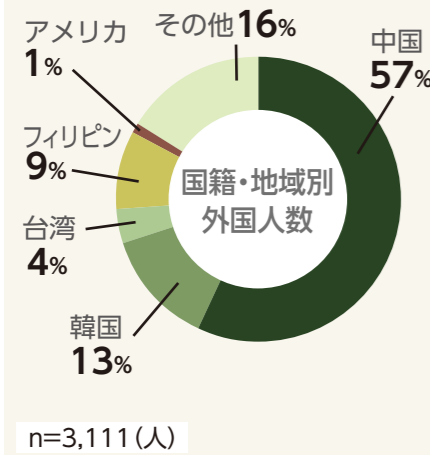


### 世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	8,626	6,022	69.8	707	523	271
H31.3	8,778	6,244	71.1	721	573	285
R2.3	9,172	6,638	72.4	738	604	302

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

### 地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



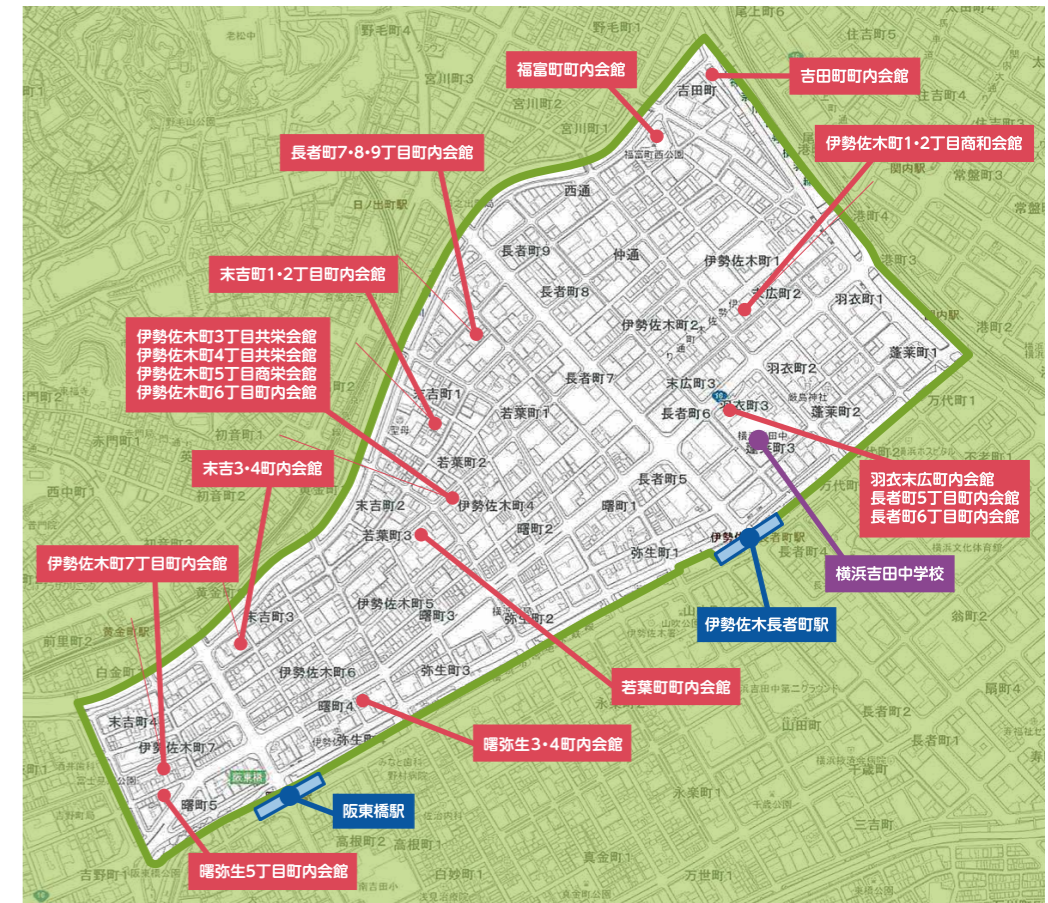
国籍・地域	人数(人)	割合(%)
中国	1,780	57.2
韓国	404	13.0
台湾	143	4.6
フィリピン	269	8.6
アメリカ	23	0.7
その他	492	15.8

### データから見た第1地区中部

総人口は増加しており、世帯数は平成27年にやや減少しましたが、その後、増加に転じています。単身世帯が総世帯の7割を占めており、単身世帯総数は、中區で一番多く、世帯平均人数は1.46人と区内では2番目に少なくなっています。また、単身世帯の8割は64歳以下が占めています。高齢化率は18.4%と中區平均(23.4%)よりは、低くなっていますが、年々上昇してきています。外国人数は、増加しており、人口に占める割合は23.7%と区内で一番高く、5人に1人以上が外国人です。町別では外国人の割合が50%を超えている町もあります。外国人の国籍別では、中国が半数を超えています。韓国、フィリピンなども多く、その他の割合も多くなっています。

### 第1地区中部はこんなまちです

横浜開港から賑わいの中心となってきたまち。お三の宮日枝神社の例大祭や商店街のイベント等で活気にあふれ、地域住民の交流も活発に行われています。また外国人が多く暮らしている国際色豊かな地域でもあります。



曙町・伊勢佐木町・末広町・末吉町・羽衣町・福富町・蓬萊町・弥生町・吉田町・若葉町・長者町の一部

※伊勢佐木町1・2丁目商和会館等の記載以外にも、末吉町4丁目あおぞら自治会、曙1・2丁目町内会、弥生町1・2丁目町内会、蓬萊町町内会等の自治会町内会があります。

これまでの計画(第3期)の振り返り

各種地域のイベント(さくら祭り、おしゃべり会、バスハイク等)で交流をはかりました。

伊勢ぶらクラブでコグニサイズ(介護予防体操)に取り組み、介護予防に取り組みました。

ラジオ体操では、国籍の異なる生徒や家族が参加しやすいよう、多言語版チラシを作成するなど、多文化共生に取り組みました。

住宅地だけでなく、商業施設・店舗が多いことから、住民だけでなく在勤の方とともに地域づくりに取り組む必要があります。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等で構成される「第1地区中部中なかいネ!推進会議」を年4回程度実施し、話し合いながら作りました。



中学生の職業体験



ラジオ体操

*nakanaka photo*



視覚障害者と青少年の交流ボーリング大会

第4期計画



目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
顔が見える関係づくりをすすめます。(地域課題に地域で取り組む土台づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症対策を踏まえた上で、お花見の集い、バス旅行、おしゃべり会、親子ハイキング、もちつき大会、視覚障害者と青少年の交流ボーリング大会などのイベントや、健康づくりと商店会活性化イベント等、新たな機会を検討します。</li> <li>● 生活習慣や文化の異なる国籍の方々地域生活を送りやすくするとともに、国籍や文化に関わらず理解しあい、交流をはかるための場や方法を検討します。(外国籍住民との交流会、国際交流ラウンジと繋がる機会等)</li> <li>● より身近な範囲で住民同士のつながりができるようにしていきます。また、困ったことがあった時に声をかけあいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症拡大の影響により、既存の交流の場が縮小・休止となっており、交流の機会をつくる必要がある。</li> <li>● 以前と同様か、現状にあわせた新しい手法、担い手を検討する必要がある。</li> <li>● 新しい住民も増えていくので、全ての地域活動の活性化に不可欠な顔を見知った関係を醸成する必要がある。</li> <li>● 単身世帯が多く、困ったときにすぐに気づける関係づくりが必要。</li> </ul>	えん結び
地域でこどもを見守り、安心して子育てができるまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラジオ体操を継続します。国籍の異なるこどもたちとその家族等が参加しやすくする方法を継続的に検討し、実施します。</li> <li>● こどもを見守り、支援できる取り組みを検討します。(子ども食堂や居場所との連携など)</li> <li>● 赤ちゃん学級や子育て支援者による相談を周知します。より多くの住民が利用できるよう周知方法を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国籍の異なる子どもが多い地域特性がある。孤立して育児している地域住民も少なくない。</li> <li>● 住居と商業地域が重なる。その中で家庭の経済事情や文化事情、(日本も含め)国籍の異なるこどもたちが共生し、安心、安全に育つことができるよう、その基本となる食を確保し、交流、食育等をすすめる必要がある。</li> <li>● 子育て支援に関する情報のさらなる周知が必要。</li> </ul>	えん結び 元気いっぱい
認知症への正しい理解が進み、誰もが安心して地域で生活できるようなまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症サポーター養成講座を開催します。また、多くの方に参加してもらうための周知方法を検討し、実施します。</li> <li>● 企業、商業施設、店舗等でも認知症サポーター養成講座を開催することと併せ、認知症の方でも安心して買い物をしたり交流したりすることができる場や方法を検討します。</li> <li>● 介護予防の取組と交流をはかる場をつくっていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症への正しい理解をさらに広める必要がある。認知症サポーター養成講座開催をうまく周知できていない。</li> <li>● お店でも、認知症の方への適切な対応方法がわからず、困る事がある。</li> <li>● 介護予防グループが活動できていない。</li> </ul>	えん結び 元気いっぱい

# 第1地区中部

## 5年後の目指す姿

高齢者、障害者、こどもが多文化共生する、  
安全で健康なまち「いちなか」



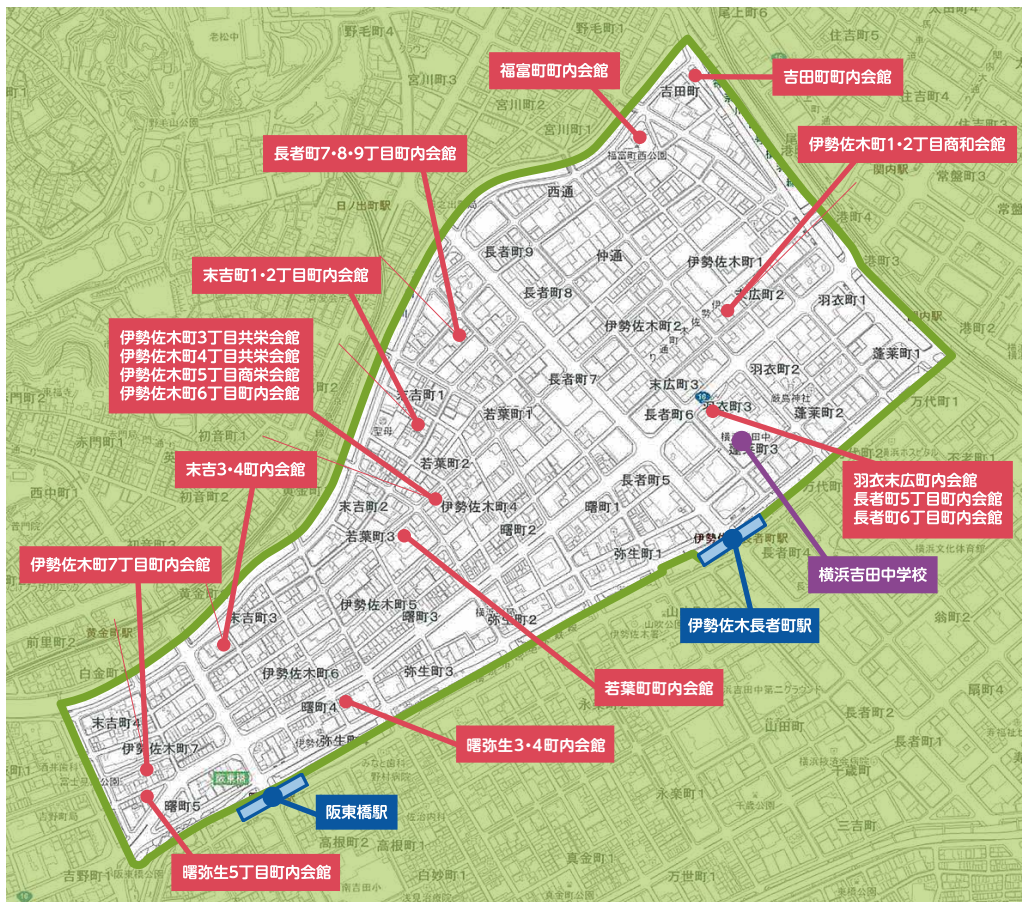
おしゃべり会 ▲



お花見の集い ▲

### 第1地区中部は こんなまちです

横浜開港から賑わいの中心となってきたまち。お三の宮日枝神社の例大祭や商店街のイベント等で活気にあふれ、地域住民の交流も活発に行われています。また外国人が多く暮らしている国際色豊かな地域でもあります。



曙町・伊勢佐木町・末広町・末吉町・羽衣町・福富町・蓬莱町・弥生町・吉田町・若葉町・長者町の一部

※伊勢佐木町1・2丁目商和会館等の記載以外にも、末吉町4丁目あおぞら自治会、曙1・2丁目町内会、弥生町1・2丁目町内会、蓬莱町町内会等の自治会町内会があります。

## これまでの計画(第3期)の振り返り

各種地域のイベント(さくら祭り、おしゃべり会、バスハイク等)で交流をはかりました。

伊勢ぶらクラブでコグニサイズ(介護予防体操)に取り組み、介護予防に取り組みました。

ラジオ体操では、国籍の異なる生徒や家族が参加しやすいよう、多言語版チラシを作成するなど、多文化共生に取り組みました。

住宅地だけでなく、商業施設・店舗が多いことから、住民だけでなく在勤の方とともに地域づくりに取り組む必要があります。

## 第4期計画

目標	第4期の取組
<p>顔が見える関係づくりをすすめます。(地域課題に地域で取り組む土台づくり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症対策を踏まえた上で、お花見の集い、バス旅行、おしゃべり会、親子ハイキング、もちつき大会、視覚障害者と青少年の交流ボーリング大会などのイベントや、健康づくりと商店会活性化イベント等、新たな機会を検討します。</li> <li>● 生活習慣や文化の異なる国籍の方々が地域生活を送りやすくするとともに、国籍や文化に関わらず理解しあい、交流をはかるための場や方法を検討します。(外国籍住民との交流会、国際交流ラウンジと繋がる機会等)</li> <li>● より身近な範囲で住民同士のつながりができるようにしていきます。また、困ったことがあった時に声をかけあいます。</li> </ul>
<p>地域でこどもを見守り、安心して子育てができるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラジオ体操を継続します。国籍の異なるこどもたちとその家族等が参加しやすいする方法を継続的に検討し、実施します。</li> <li>● こどもを見守り、支援できる取り組みを検討します。(子ども食堂や居場所との連携など)</li> <li>● 赤ちゃん学級や子育て支援者による相談を周知します。より多くの住民が利用できるよう周知方法を検討します。</li> </ul>
<p>認知症への正しい理解が進み、誰もが安心して地域で生活できるようなまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症サポーター養成講座を開催します。また、多くの方に参加してもらうための周知方法を検討し、実施します。</li> <li>● 企業、商業施設、店舗等でも認知症サポーター養成講座を開催することと併せ、認知症の方でも安心して買い物をしたり交流したりすることができる場や方法を検討します。</li> <li>● 介護予防の取組と交流をはかる場をつくっていきます。</li> </ul>

## 第4期計画はこのようにつくりました

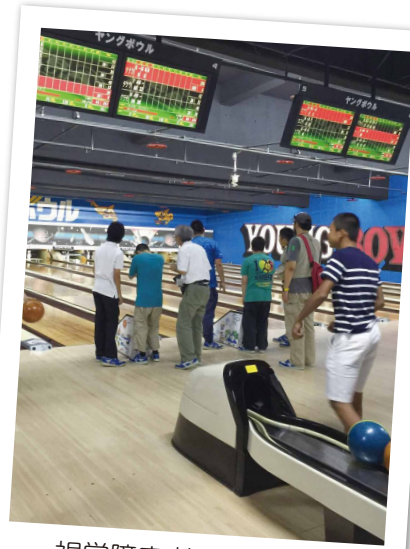
地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等で構成される「第1地区中部中なかいいネ!推進会議」を年4回程度実施し、話し合いながら作りました。



中学生の職業体験



ラジオ体操



視覚障害者と青少年の  
交流ボーリング大会

nakanaka photo



### 取り組む理由

### 視点

- 感染症拡大の影響により、既存の交流の場が縮小・休止となっており、交流の機会をつくる必要がある。
- 以前と同様か、現状にあわせた新しい手法、担い手を検討する必要がある。
- 新しい住民も増えていくので、全ての地域活動の活性化に不可欠な顔を見知った関係を醸成する必要がある。
- 単身世帯が多く、困ったときにすぐに気づける関係づくりが必要。

えん結び

- 国籍の異なる子どもが多い地域特性がある。孤立して育児している地域住民も少なくない。
- 住居と商業地域が重なる。その中で家庭の経済事情や文化事情、(日本も含め)国籍の異なる子どもたちが共生し、安心、安全に育つことができるよう、その基本となる食を確保し、交流、食育等をすすめる必要がある。
- 子育て支援に関する情報のさらなる周知が必要。

えん結び  
元気いっぱい

- 認知症への正しい理解をさらに広める必要がある。認知症サポーター養成講座開催をうまく周知できていない。
- お店でも、認知症の方への適切な対応方法がわからず、困る事がある。
- 介護予防グループが活動できていない。

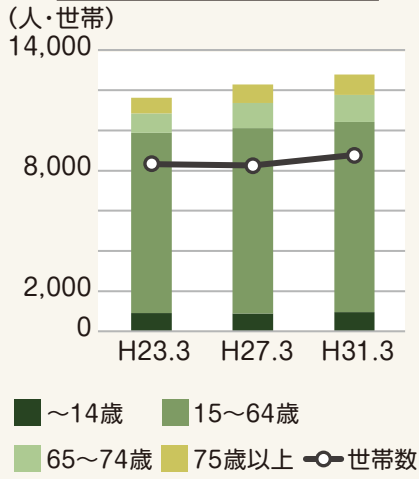
えん結び  
元気いっぱい

# 第1地区中部の統計データ

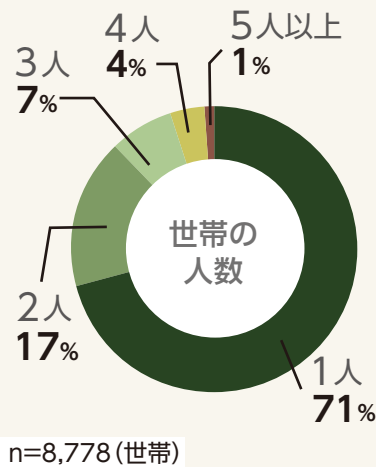
## 人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	11,623	901	8,971	969	782	15.1	8,313	1.40
H27.3	12,284	887	9,237	1,234	926	17.6	8,255	1.49
H31.3	12,774	946	9,473	1,341	1,014	18.4	8,778	1.46

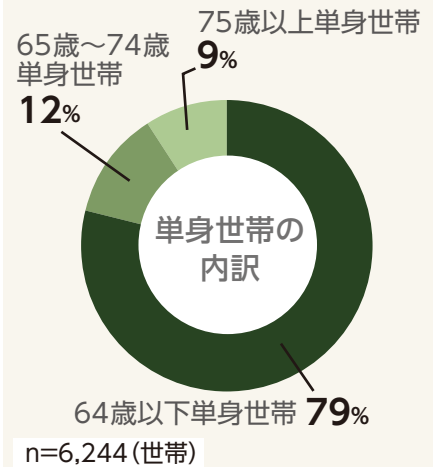
### 人口・世帯数の推移



### 世帯の状況 (H31.3現在)



### 単身世帯の状況 (H31.3現在)

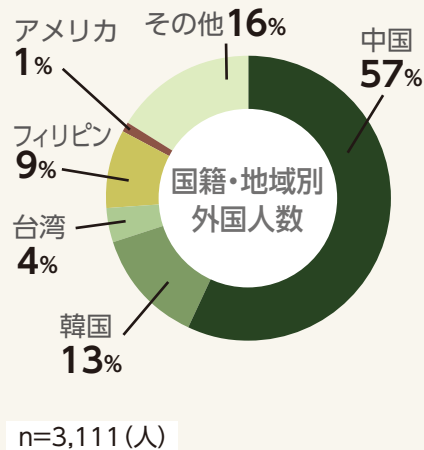


## 世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	8,626	6,022	69.8	707	523	271
H31.3	8,778	6,244	71.1	721	573	285
R2.3	9,172	6,638	72.4	738	604	302

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

### 地区内の外国人の状況 (H31.4現在)



国籍・地域	人数(人)	割合(%)
中国	1,780	57.2
韓国	404	13.0
台湾	143	4.6
フィリピン	269	8.6
アメリカ	23	0.7
その他	492	15.8

## データから見た第1地区中部

総人口は増加しており、世帯数は平成27年にやや減少しましたが、その後、増加に転じています。単身世帯が総世帯の7割を占めており、単身世帯総数は、中区で一番多く、世帯平均人数は1.46人と区内では2番目に少なくなっています。また、単身世帯の8割は64歳以下が占めています。

高齢化率は18.4%と中区平均(23.4%)よりは、低くなっていますが、年々上昇してきています。

外国人数は、増加しており、人口に占める割合は23.7%と区内で一番高く、5人に1人以上が外国人です。町別では外国人の割合が50%を超えている町もあります。

外国人の国籍別では、中国が半数を超えていますが、韓国、フィリピンなども多く、その他の割合も多くなっています。